

宮崎市におけるHPVワクチンの周知等の取組について

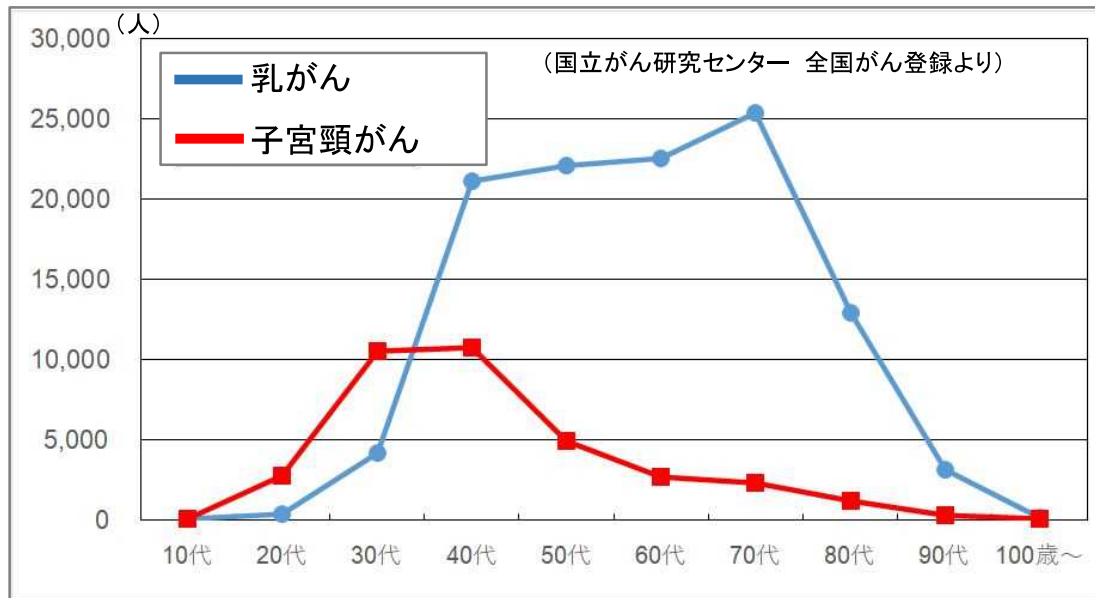
令和7年11月20日

宮崎市長 清山 知憲



◆ 女性のがんの状況

年齢別罹患者数 ※2021年時点



結婚、出産、子育てを経験する20～40代に多く
女性のライフステージに多大な影響を与える

子宮頸がんの状況

- 罹患者数 約 **1** 万人／年
- 死亡者数 約 **2,900** 人／年
- 子宮摘出者数 約 **1,000** 人／年

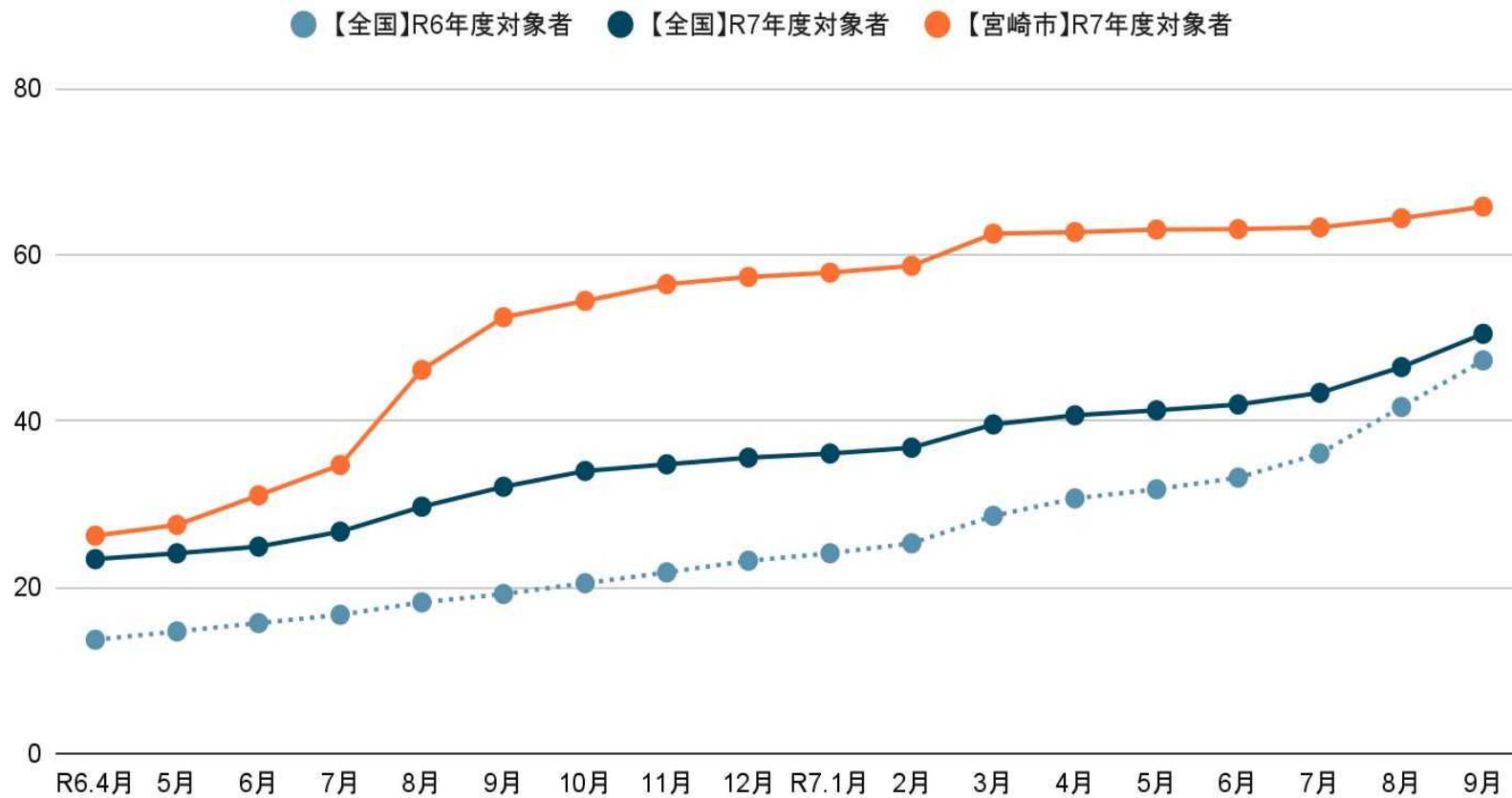
※罹患者数(全国がん登録より)

※死亡数(人口動態統計(確定数)より)

※子宮摘出者数(厚生労働省パンフレット引用)

◆ HPVワクチンの接種率について(女子)

累積初回接種率推移データ: 定期接種(高校1年生相当)



**R7年9月末
初回接種率
(高校1年生)**

宮崎市 : 65.8%

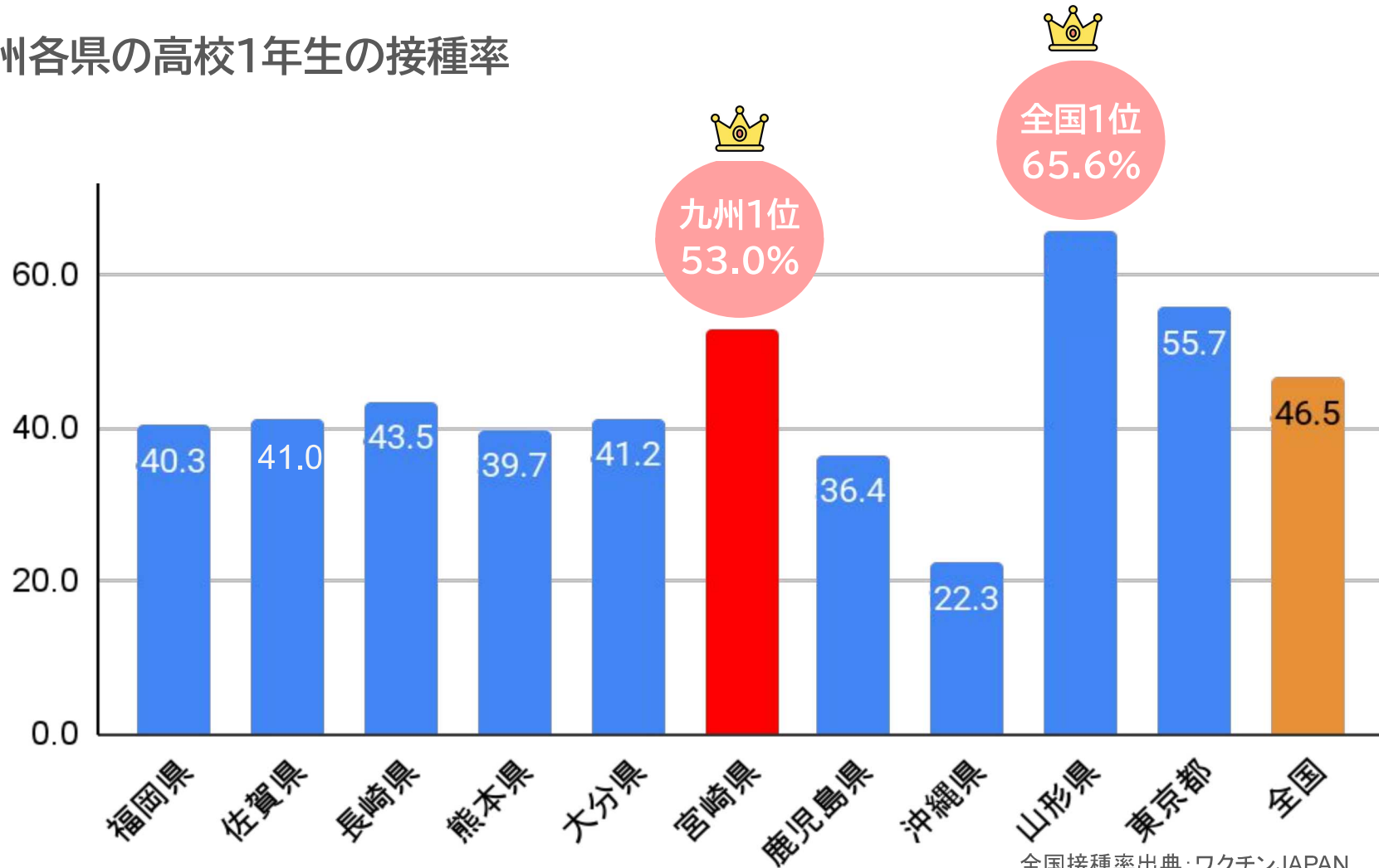
全 国 : 50.5%

**令和6年度の取組で
接種率が大幅増**

全国接種率出典: ワクチンJAPAN

◆ HPVワクチンの接種率について(女子)

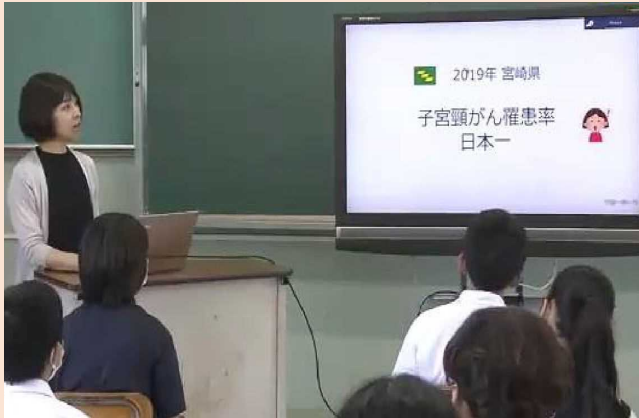
九州各県の高校1年生の接種率



全国接種率出典: ワクチンJAPAN

◆ 宮崎市の取組①（出前講座）

産婦人科医による 各中学校での出前講座



市内公立中学校全27校で実施

県産婦人科医会協力のもと令和5年度より開始

Point1 保護者へのアプローチ

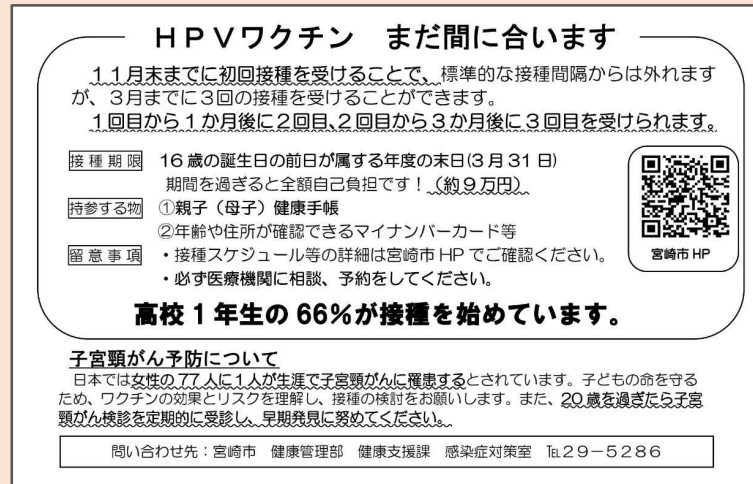
可能な限り参観日等での実施を依頼

Point2 講座内で当事者の動画を放映

27歳の若さで亡くなられた方の動画を放映

本市が開始後、県全域に取組が拡大中

- ▶ Z型圧着ハガキ(6面)で情報量を確保
- ▶ 医療機関一覧で予約までのプロセスを省略
- ▶ 通常ハガキや学校を通じたチラシ配布等により複数回実施

[illegible]

◆ 宮崎市の取組③（周知啓発）

正しい情報を幅広く伝える

- ▶ テレビCMやWeb広告、新聞広告の実施
- ▶ 対象世代が集まる商業施設、カフェ、美容室等での啓発
- ▶ 企業へのアプローチ



◆ 宮崎市の取組④（接種機会の提供）

接種を受けやすい環境づくり（～令和6年度の実施）

- ▶ 宮崎大学、宮崎公立大学で臨時の接種会場を開設
全18日程 約 740件接種
- ▶ 商業施設における日曜接種の実施
全5日程 約 560件接種
- ▶ 夜間や日曜日における医療機関での時間外接種実施
令和6年度 約 2,000件接種（11医療機関 延べ 286日開設）
※開設費用（最低2時間） @2万円/日



◆ 男子へのHPVワクチン接種①

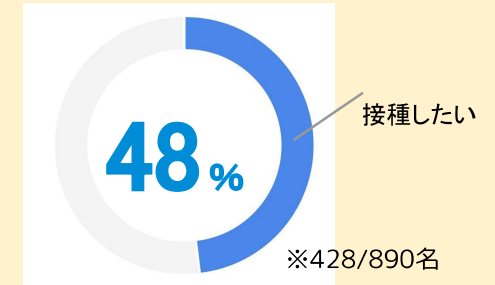
九州の市で初！

2025年4月から

男子の接種費用を **全額助成**

- ▶ 男性自身の関連疾患（肛門がん・尖圭コンジローマ等）予防に有効
- ▶ 小学校6年生から高校1年生相当年齢までの男子が対象
（※H21.4.2～H26.4.1生まれ）
- ▶ 2025.10月から9価ワクチンも対象に追加

出前講座参加男子の
半数が接種希望



高校1年生 初回接種率 21.1%（令和7年9月末時点）

- ▶ R7.6月に圧着ハガキを全対象者あて送付
- ▶ 男子も含めたポスターを作成
庁舎内や医療機関、学校等で掲示

9価ワクチンについて

- ▶ 令和7年8月25日の変更薬事承認を受け、10月から費用助成開始
対象ワクチン追加の案内ハガキを未接種者全員へ送付

[illegible]